

会報

第7号

発行者 平成18年2月18日発行
青葉区ねことの暮らしを考える協議会

協議会事務局 PHS 070-5577-5737・070-5577-5858 会長 井本史夫

活動レポート(H17秋～H18春)

区民まつり・健康フェスティバル

昨年11月3日におかげさまで成功裡に終わりました。ご参加くださった皆様お疲れ様でした。スポーツセンターで行われた健康フェスティバルでは、今年も猫の飼育相談や猫とのふれあいコーナー、協議会の活動の様子を展示して来場者に協議会の趣旨をアピールしました。



また、屋外の区民まつりブースでは、テント前でバルーンアートの実演やキャットメイトさんたち手作りの粘土猫の置物、カレンダー、協議会ロゴ入りオリジナルトレーナーとエプロン、猫缶バッジなどを販売しました。ご協力くださったすべてのお客様には、協議会の主な活動内容の紹介とともに「**これら商品の売り上げは、すべて不幸な猫を増やさないための活動資金(不妊去勢手術など)に使われます。**」ことをお伝えしました。今後も展示方法、レイアウト、外看板などさらに工夫し参加していきたいと思っております。

楽しいキャットメイト交流会

区民祭りのバザーで販売した可愛い**手作り粘土猫の置物** 大好評

を、「今度は自分で作ってみたい。」というリクエストが寄せられました。そこで毎月定期的に区役所の会議室を借りて、獣医師やスタッフも交え、日頃の悩みや猫の健康相談などを、ざっくばらんに話しながら手作りする機会を設けました。

第1回目の12月9日は、紙粘土を猫の形に成形しました。和やかな雰囲気の中で、誰にでも出来る意外と簡単な作業で、楽しいひとときでした。次回からは色塗り、包装へと進み、どんどん作っていく予定です。

集まりの名称は「キャットメイト交流会」ですが、今年からはキャットメイトさんに限らず一般会員の方や、そのご友人など、広く多くの方々のご参加をお待ちしています。

もちろん短い時間での中途参加でも全くかまいませんので是非お立ち寄り下さい。

日程、場所など詳しくは別紙御参照下さい。

講演会のご案内

「地域猫」のすすめ。ノラ猫と上手につきあう方法

飼い主のいない猫は「地域」が飼い主になる。人と猫が、共に暮らしていける街づくりを目指して活動している地域の取り組みや実践の為の方法などをご紹介します。

会員の方に限らずどなたでもご参加いただけます。この際、ご近所の方なども誘ってお出かけになりませんか！

講師：黒沢 泰 横浜市西福祉保健センター職員1957年生まれ、鎌倉市在住、獣医師1979年麻布大学獣医学科卒業、横浜市に入庁。磯子保健所衛生課在勤時代に、行政として全国で初めて「地域猫」の考え方を発案、実践する。現在、西福祉保健センター生活衛生課にて「ねこトラブルゼロを目指すまちづくり」事業を展開中。著書に演題の「『地域猫』のすすめ - ノラ猫と上手につきあう方法 - 」(2005年12月、文芸社)がある。

参加費無料

参加者にはキャットフードサンプルの配布があります。

日時：平成18年2月10日(金)
午後2時～3時30分
(午後1時45分より受け付け)

場所：区役所4階会議室
定員：約120名 先着順に受け付けます。
当日直接会場においで下さい

岩國哲人さん（青葉区在住 衆議院議員）

より当協議会会報に原稿をいただきました。

「モモとエッセイ」

国会議員になると同時に山陰地方の最大手の新聞、「日本海新聞」から依頼されて書き続け、国会の中でも私の秘書が各議員の部屋にコピーを届けるので、小泉総理をはじめ四百人の国会議員に九年間にわたって毎週「一月三舟」（いちげつさんしゅう）という私のエッセイを読んで頂いています。

「一月三舟」は仏教で使われた言葉です。一つの月でも、北に行く舟から見ると北に行くように見え、南に行く舟から見ると南に行くように見え、止まっている舟から見ると止まって見える。一つのことでそれぞれ異なって受け取ることができ、いろいろな見方をすることができるたとして使われています。

日本国の通信簿は、経済一流、行政二流、政治は三流、これが国際社会の長年にわたる評価でした。私はどういう運命のいたずらか、一流から三流までの三つのすべての世界を経験することになりました。いうならば、経済、行政、政治へと「華麗なる転進」などと書かれたりしましたが、正確に表現するならば、「華麗なる転落」の人生というべきでしょう。

執筆という作業は深夜の孤独な仕事になりがちですが、私には幸い「モモ」という可愛い女の子がいつもお相手をしてくれました。

二女の絵里が、ハーバード大学を卒業して、奉職したのがマサチューセッツ州の古い高校でした。

友人の家にかわいいネコが三匹生まれたとい

うので行ってみたら、目元のかわいいネコ

がいました。薄い黒とベージュの横じま

模様で、メイン・クーンというアメリ

カを代表する「ネコの女王」といわ

れる種類で、ピーター・ラビット

とその仲間たちが誕生したイギリス湖水地方の

ソーリー村のモペットそっくりでした。

名前は「イワクニ・モペット」、愛称は「モモ」と決まりました。

モモはアメリカで育ち、私たちといっしょに出雲市に移り、そして東京に住み...、モモもまた一人前に三つの世界を経験してきたことになります。

行儀のよいモモでしたが、私にとって一番困ることは、「一月三舟」の原稿書きが始まると、朝の三時でも四時でも起きだしてきて、私の机に上がって、窓を向いて、メイン・クーン特有の大きなぼったりとしたお尻と長いしっぽを原稿用紙にのせてしまうことでした。万年筆のインクが乾かない間に大きなしっぽが右から左へ、左から右へとその上をなでて行くと、字がにじんで「わ」が「れ」や「ね」に、「め」が「ぬ」になったりしました。

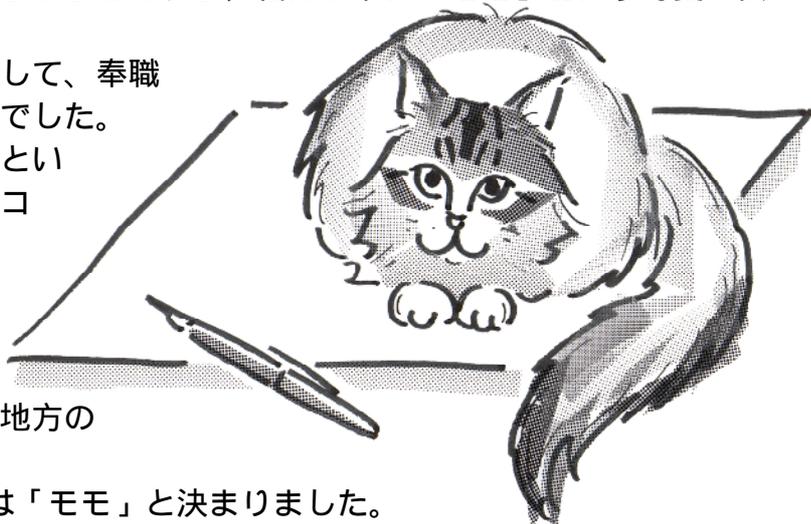
いつまでも私が相手をしてやらないと、こんどは私の方へ向き直って原稿用紙の上のはしを両手で押さえて、じっと原稿を書いている私の顔を見つめています。「パパ、何を書いているの？

モモちゃんのこと？」とでもきいているようでした。

モモの大きなテールから原稿用紙を左手で守り、左手にテール、右手に愛用の万年筆パイロットとモンブラン。それがいつもの執筆スタイルでした。

私の一月三舟の旅はこうして続いていたのですが、モモは十七年の短い生を終えて、この世を去ってしまいました。「パパ、さようなら。モモちゃんがいなくても、元気で書き続けてね。」と言いながら。

八年間、九十万字を書き続けるお相手をしてくれたモモに感謝。



キャットメイトIDカードができました

キャットメイトの皆様には「青葉区ねことの暮らしガイドライン」に沿って、日々、猫の世話をを行うと同時に、周辺環境整備、繁殖制限、健康管理をするなど本当にご苦労様です。近隣の方々に対し皆様の活動実態をより明確にするため、又、猫の適正な飼養についての理解を広めるためにこのIDカードが役立つ事と思います。

ご希望の方は青葉区役所福祉保健センター衛生課窓口へ

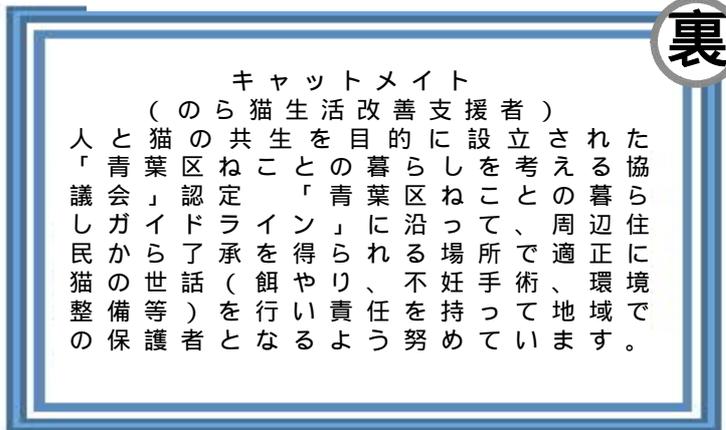
悪用防止のためお渡しした時にご記名をお願いします。



首から下げて又名刺としてもご利用頂けます。（首下げ式カードケース付き）



表



裏

お一人様何枚でも

青葉区ねことの暮らしガイドラインに基づく啓発目的のプレート（屋外掲示用）

赤プレート

青プレート

猫の飼主のみなさんへ
「青葉区ねことの暮らしを考えるガイドライン」
・・・をご存じですか？



猫は屋内での飼育をおすすめします。屋内でともに暮らしましょう。

ガイドラインや猫の世話についてのお問い合わせは
青葉区福祉保健センター生活衛生課

この付近で猫たちへえさをあげている方へ
エサの置きっぱなしは
人にも猫にも**迷惑**です



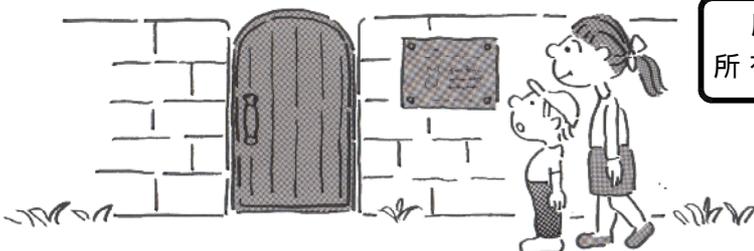
詳しい飼い主のいない猫が、地域で「雑われ猫」にならないように暮らしていくには、必要なことがたくさんあります。トイレや不妊去勢手術、付近の人に、理解してもらうことも、とても大事です。
青葉区では、この「大事な事」をガイドラインにまとめています。

飼い主のいない猫（のら猫）は
「青葉区ねことの暮らしを考えるガイドライン」
を読んでから世話をして下さい。

青葉区福祉保健センター生活衛生課
(ガイドラインは窓口にあります。)

所有地以外の場所に掲示する場合は、所有者の了解を得てから掲示しましょう。

ご希望の方は青葉区役所福祉保健センター衛生課窓口へ



『難問解決!ご近所の底力』

(様々な問題を地域密着型の解決方法で考える情報番組です。)

NHK総合テレビ、2月23日(木曜)午後9時15分から『猫のしつけ』(仮題)が取り上げられます。

当協議会では会長の井本史夫獣医師はじめ、理事、そして地域猫のために各方面で活躍している方々が出演されます。

猫と共に暮らす日々できっと役立つ情報が得られると思います。是非ご覧下さい。

おめでとうございます



この度、環境大臣から動物愛護功労者として、全国で7人の個人と、2つの団体が表彰されました。その中の1人として、当協議会役員であり神奈川捨猫防止会発足以来中心になっている、太田成江さんが横浜市衛生局からの推薦により表彰を受けられました。数々のご苦勞の積み重ねの日々であった事と思います。お体に留意され今後もますますのご活躍を期待致します。

1973年(昭和48年)発足したボランティアグループで、人と猫が共生していける環境を目指し活動しています。猫の適正飼養の普及のために次のような活動をしています。

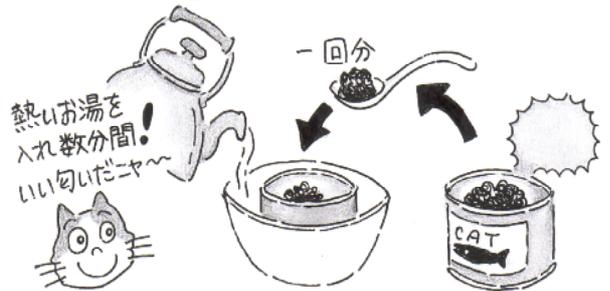
地域のイベントに参加

パンフレット・会誌などの発行

不妊手術・飼い方・外暮らし猫の世話等についての電話相談

食べ残しゼロ作戦

開けたての缶詰は喜んで食べるのに、二度目・三回目になるとそっぽを向いてしまったり、捨てざるをえない。こんなもったいないことをしないように、開けてしまった缶詰は冷蔵庫に入れて保存し、食べさせる分だけ取り出し、そのたび少し湯煎してあげると良い匂いだし、冷たくなっておいしいのできれいに食べてくれます。



会員通信

- ★ 平成17年度会費未納の方は下記宛にご入金下さい。
郵便局振り替え口座：00290-6-16690
「青葉区ねことの暮らしを考える協議会」
又は青葉区役所福祉保健センター衛生課窓口へ直接お持ち下さい。
- ★ 新規会員募集について
随時募集しております。(一般会員年額¥1,000)
- ★ 昨年6月に行われた定期総会では新たに2名の役員が承認されました。
新井 暁 新井動物病院 院長
川崎 康宏 ピュア動物病院 院長

ますますパワーアップの協議会です。人と猫との共生を目指し、今後より一層の活躍が期待されます。